



あなたの身近にある大切な
景観 ふじさわ

2010

大切にしていきたい・守っていきたい・創っていきたい
わがまち **景観ベストテン**
ふじさわ

藤沢市

「史跡名勝」 江の島



隆起海蝕台地の特徴ある地形を持ち、古くから続く信仰の霊地である江の島。相模湾各地から眺められる江の島のシルエットは「湘南のシンボル」として親しまれ、また島内から一望する海岸線や富士は必見。歴史と景勝の地として「史跡名勝」に指定されています。また、近年は展望灯台と花火に加えて、参道やコッキング苑の整備、歳末のライトアップ等のまちづくりが行われ、多くの観光客で賑わっています。



湘南海岸と R134

古くから日本を代表する海水浴場が開け、数々の歌やドラマの舞台となった日本を代表する海岸。サーフィンを始めさまざまなマリンスポーツを一年中楽しめます。また、公園としても整備された湘南海岸からは、富士を一望するパノラマオーシャンビューを堪能することができます。R134沿道は黒松の防砂林と、自然素材や明るい色調のモダンな建物が建ち並び、湘南らしいリゾート景観が続きます。



松と玉石垣の まちなみ 鵜沼



大正期より別荘地として開発された鵜沼の住宅地は、黒松を始めとする樹齢を重ねた庭木群と玉石垣の沿道景観が風格ある邸宅の佇まいを残しています。良好な住環境を守るための市民活動も活発で、景観まちづくりに向けた取組みが広がっています。

遊行寺と 東海道 藤沢宿



時宗総本山である遊行寺は、巨大な黒門と大銀杏、本堂や鐘楼の佇まいが名刹の風格を伝えています。また、黒門前から白旗神社にかけては、少なくともはなったものの、東海道藤沢宿の面影を残す土蔵や商家建築、寺社が点在し、現在の都市藤沢の発祥の地であることを伝えています。

水と緑の サイクリングロード 境川



藤沢の東部を南北に貫く「水と緑の景観軸」の一つである境川。善行以北は、雄大な田園風景が広がり、川沿いに整備されたサイクリングロードは多くのツーリング客で賑わっています。市街地の中を流れる南部は、要所にある桜や黒松の木立が散策の眼を楽しませてくれます。

水と緑の プロムナード 引地川



「水と緑のプロムナード」として藤沢市の中央部を南北に貫く引地川。沿川は多くの緑地で囲まれ、日常的なレクリエーション空間として親しまれています。また、中部の広大な田園地帯は親水公園、大庭遊水池、河岸段丘の斜面緑地が一体となって生態系の豊かな藤沢の原風景を形成しています。

原風景の残る 三大谷戸



▲石川丸山谷戸



▲川名清水谷戸

遠藤笹窪谷戸▼



川名清水谷戸は、四季折々の彩りを楽しめる新林公園とともに川名緑地を形成する藤沢駅至近の豊かな自然です。石川丸山谷戸は、手をかけて維持されている棚田を豊かな自然が取り囲み、見事な里山の景観を残しています。遠藤笹窪谷戸は、多様な生態系が息づく貴重な森林が今なお残り、竹林は地域交流の場としても活用されています。

中央けやき通り 湘南ライフタウン



およそ5kmにわたって続くけやき並木は、昭和40年代より計画的にまちづくりが進められた湘南ライフタウンを南北に貫くメインストリート。春の新緑、夏の木陰、秋の紅葉、冬の筭立ちの力強い姿など、四季折々の変化が湘南ライフタウンの生活のリズムを刻んでいます。

あじさいと 彼岸花の 小出川



6月は上流部およそ500mの間に小出川の両岸に植栽されたあじさいが満開となり、9月は遠藤から打戻を経て寒川に至るおよそ3kmの区間に彼岸花の“赤い帯”が続きます。見頃の時期にはあじさいまつりや彼岸花まつりが開催され、多くの観光客が訪れます。

江ノ電の走る 風景



藤沢駅から鵜沼を走り鎌倉へと抜ける江ノ電は、開業100余年を迎え、すっかりわがまち藤沢の走るシンボルとなりました。夕日を浴びて境川の鉄橋を渡る光景、祭りで賑わう龍口寺前の急カーブや小さな踏切を通り過ぎる姿は、市民の心に刻まれる藤沢らしい情景の一つです。